

団士郎家族漫画展 活動紹介&団士郎の漫画トーク

東日本大震災からまもなく8年目を迎えようとしています。私たちは、2011年から10年間、毎年東北4県(青森・岩手・宮城・福島)をキャラバンする「東日本・家族応援プロジェクト」を立ち上げ、現地の方々の協力を得ながら、家族漫画展や各種プログラムを通じて、被災と復興の物語に耳を傾け、“witness”(目撃者・証人)として存在し続けようとしてきました。このたび、立命館大学応用人間科学研究科の改組に伴い、2018年度新設する立命館大学大学院人間科学研究科として、本プロジェクトを引き継ぐにあたり、この大阪いばらきキャンパスで漫画展と活動紹介を行います。

団士郎家族漫画展

2018年1月10日(水)～2月12日(月)

時間：ライブラリー開館時間

場所：立命館大学大阪いばらきキャンパス

B棟2F OICライブラリー展示室

来場の皆さまには文庫版「木陰の物語」を差し上げます(数量限定)



活動紹介&団士郎の漫画トーク

申し込み不要*どなたでもご参加できます

2018年2月10日(土) 14時～15時30分

場所：立命館大学大阪いばらきキャンパス

B棟2F ギャラリー R-AGORA



村本 邦子

団 士郎

「東日本・家族応援プロジェクトの紹介と被災地の今」

村本邦子(立命館大学教授)+プロジェクトメンバー大学院生

※プロジェクトの活動の詳細については、応用人間科学研究科HPや対人援助学マガジン(web)「周辺からの記憶」で連載中。

「団士郎の漫画トーク」

物語には描かれた部分と、書かれなかった部分がある。

描ききれなかったものや、あえて描かなかったものも、

家族のたたずむ木陰には存在する。

そんな物語をスライドショーに併せてお話しします。

団士郎(立命館大学教授/家族療法家/漫画家)

公立の児童相談機関心理職25年を経て独立。「仕事場 D・A・N」主宰。家族療法の実践をしながら、講演やワークショップを全国に展開。漫画家でもあり、マンガ集団「ぼむ」同人、web雑誌「対人援助マガジン」編集長。2011年からむつ市を皮切りに家族漫画展を被災各県で継続的に開催。

